

## 研究プロジェクト一覧

### 2006年度 総合文化研究所研究プロジェクト

代表者 ◎印

#### 「現代社会と平和」 継続

目的：平和学は紛争の解決と防止のための技術学として17世紀に創始された。しかし今日の平和学は、いわゆる「構造的暴力」を再生産するさまざまな権力関係を視野に収めながら、このような暴力を生み出さざるをえない知と社会の枠組そのものを問題としつつある。したがってそれはもはや技術的な専門領域としてではなく、すぐれて学際的な新しい知の試みとして展開しているのである。より具体的に言えば、環境、ジェンダー、マイノリティ、エスニシティといった近代知が排除してきた視点や、正義研究、世界システム論、ポスト・コロニアルな文化研究といった新しい成果を積極的に取り入れた融合領域として今日の平和学は生成しつつあるとすることができよう。本研究の目的は、以上のような近年の平和学の方法と成果を踏まえて、グローバル化と多文化化が急速に進む現代社会における「平和」の課題を、多面的かつ統合的に明らかにすることである。

|        |       |               |
|--------|-------|---------------|
| ◎齊藤 修三 | 兼担研究員 | チカーノスタディーズと平和 |
| 河見 誠   | 〃     | 法理念としての平和     |
| 輪島 達郎  | 〃     | キリスト教思想と平和    |
| 鈴木 直子  | 〃     | 戦後日本文学と平和     |

#### 「キリスト教と文化」 継続

目的：明治時代以降、日本へのヨーロッパの文化が移入される過程で、キリスト教に関する内容が、近代教育の中でどのように働き、受容されてきたかを、前年度の成果を踏まえて、さらに検証する。研究分担者は各専門分野が、学校教育の中でいかなるテキストを用い、どのような形式で教えられてきたか、その歴史的変遷とともに考察する。また日本の伝統的価値観に向き合う中での西洋文化の受容に、キリスト教が果たした役割を具体的事例とともに考えたい。

|        |       |                       |
|--------|-------|-----------------------|
| ◎大野 芳材 | 兼担研究員 | 日本近代美術の中の聖書の表現        |
| 鈴木 律子  | 〃     | 明治時代のミッション・スクールでの仏語教育 |
| 浅見 均   | 〃     | 幼児教育とキリスト教            |
| 山田 美穂子 | 〃     | 明治時代に日本を訪れた英国女性旅行家    |
| 菅野 幸恵  | 〃     | 日本における西洋の心理学の受容と展開    |

## 「アジアの自然と文化」 新規

目的：21世紀の日本を中心としたアジアの自然とそれぞれの地域の文化との関わりを明確にする。

その課題は以下の5項目の枠で考察する。

- 1) 共同研究の視点を現代に置く。
- 2) アジアに於ける自然の独自の見解を明らかにする。
- 3) アジアの自然の考えが、西洋文化—宗教、科学、技術、芸術—を受容することについてどのように受容し、その結果どう変化したのか。
- 4) 現実の環境問題はアジアに何をもたらしたのか、或いは未来に何をもたらすのか。
- 5) グローバリゼーション（普遍化）の中でアジアの文化的特殊性をそこにどう調和させるのか。

|        |       |                     |
|--------|-------|---------------------|
| ◎橋本 典子 | 兼担研究員 | 荘子の自然観とその影響         |
| 渡部 徳子  | 〃     | グローバリゼーションとアジアの自然環境 |
| 八耳 俊文  | 〃     | アジアの科学と技術           |

## 「女性と創造力、女性の創造力」 新規

- 目的：1. 女性の創造力をめぐる言説・論争についての研究。18世紀イギリス（梅垣）。  
2. 芸術・文化・思想・宗教・学問・科学・医術・社会運動の歴史の中で創造的独創的活動をした女性とその仕事についての研究。中世・近世ヨーロッパ思想（中井）、初期アメリカ（荒木）、20世紀ドイツのバウハウス（阿久津）。  
3. 現代における女性の創造力の研究。現代活動中の作家の造形表現（淀井）、文学。  
4. 研究者と作家、アメリカ・イギリス・ドイツなどの地域、歴史と現代などの境界を越えて刺激し合うことを目指す。

|        |       |                        |
|--------|-------|------------------------|
| ◎中井 章子 | 兼担研究員 | ヨーロッパ思想史における女性の創造力     |
| 淀井 彩子  | 〃     | 造形表現における女性と想像力         |
| 阿久津 光子 | 〃     | バウハウス織物工房と女性アーティスト達    |
| 梅垣 千尋  | 〃     | 女性の創造力をめぐる18世紀イギリスの論争史 |
| 荒木 純子  | 〃     | 初期アメリカにおける女性の知と創造      |